

令和3年度
事業報告書

社会福祉法人息吹

令和3年度社会福祉法人息吹事業報告

《総括事項》

1 人員体制の確保について

新型コロナウイルス感染症に伴う不況下でかつてないほどの雇用悪化が社会問題となっているなか、介護福祉業界における人手不足はかねてから特に厳しい状況が長期化しており、法人においても常に求人の取組みを緩めることができない。現在の法人の人員体制においては、定員を満たす状態を維持してはいるものの、資格を所持する職員の割合が低いことが課題となっている。今後も長く働きやすい職場づくりに向けて粘り強く職場定着策を充実することが重要である。

2 障害に対する考え方や障害者支援の在り方について

障害福祉サービスの支給決定について、近年の箕面市の障害者支援に対する考え方が、まるで生活保護の不正受給対策のようで、サービスが切り捨てられており、行政と事業所が連携して共に支援にあたる関係とは言えない状態が続いている。障害者市民がその人らしく生活を送るために、また、それを支えるサービス提供事業所が取り組みをしやすいするために、そうした環境を整えるという行政の役割がお座なりになって、逆に障害者市民の生活が脅かされている。

3 利用者の減少について

法人が運営する日中活動系事業所全般において、利用者が減少しており、収入減少の要因となっている。一年に数件もの一般就労が実現したり、体調不良で通所が安定しなかったり、入院で契約解除せざるを得なくなったり、理由は多岐にわたっている。

4 利用者及び家族の高齢化について

少子高齢化の影響は、精神障害者の日常生活と社会生活に多様な問題となって表れている。当法人が事業運営のなかで認識している課題としては、精神障害当事者本人の高齢化、家族の高齢化によって家族が担えなくなった本人への支援体制の変化、逆に家族の高齢化によって家族への家事や介護などを本人が担うことの負担や不安の高まりの3点に整理できる。

こうした課題への対応としては、本人や家族のニーズに基づきながら、障害福祉サービスだけでなく高齢福祉サービスや民生委員児童委員、その他の地域のイン

フォーマルサービス等を活用しつつ、成年後見制度を始めとした権利擁護の制度も含めて柔軟に取り組んでいく必要がある。

5 感染症対策について

新型コロナウイルスの感染拡大によって、リモートワークや外出自粛が叫ばれるなか、社会福祉施設は十分な感染防止策をして運営を続けるよう要請されており、法人が運営する事業所でも、「三つの密」を避けたり、マスク、咳エチケットと換気の徹底、検温と体調確認、こまめな手洗い、施設内の消毒、大勢が集まる会議やイベントの中止など、できる限りの対策をとって運営し続けている。

《事業別報告》

1 理事会・評議員会開催状況

(1) 理事会開催状況(全3回)

第1回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時: 令和3年6月4日(金)

第1号議案 令和2年度社会福祉法人息吹事業報告及び決算並びに職務執行状況報告の件

第2号議案 令和3年度定時評議員会招集通知記載事項の件

第3号議案 役員候補者選任の件

報告第1号 評議員選任の件

第2回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時: 令和3年6月21日(月)

第4号議案 理事長選任の件

第3回理事会(全議案を同日可決、承認)

開催日時: 令和4年3月14日(月)

第5号議案 就業規則一部改正の件

第6号議案 職員給与規程一部改正の件

第7号議案 職員等育児・介護休業等規程一部改正の件

第8号議案 パワーハラスメント防止に関する規程制定の件

第9号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づくパオみのお(特定相談支援事業)運営規程一部改正の件

第10号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律

に基づくパオみのお(地域移行支援及び地域定着支援)運営規程
一部改正の件

第11号議案 地域活動支援センターパオみのお運営規程一部改正の件

第12号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律
に基づくかたばみ寮(共同生活援助)運営規程一部改正の件

第13号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律
に基づくもみじの家(生活介護)運営規程一部改正の件

第14号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律
に基づくあっとほーむ(就労継続支援B型)運営規程一部改正の
件

第15号議案 障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律
に基づくシェスタ(就労継続支援B型)運営規程一部改正の件

第16号議案 役員賠償責任保険契約の件

第17号議案 令和3年度補正予算(案)及び職務執行状況報告の件

第18号議案 令和4年度事業計画(案)及び予算(案)の件

第19号議案 評議員選任解任委員選任の件

(2)評議員会開催状況(全1回)

定時評議員会

開催日時: 令和3年6月21日(月)

報告第1号 評議員選任報告の件

第1号議案 令和2年度社会福祉法人息吹事業報告及び決算の件

第2号議案 役員選任の件

2 地域交流啓発事業及び全体事業

新型コロナウイルス感染拡大の影響によって、例年実施してきた全ての地域交
流啓発事業等が中止となった。(参考にコロナ禍以前の令和元年度の実施事業を
再掲する。)

5月 春のバザー出店

6月 息吹合同レク・バーベキュー大会(パオみのお)

7月 南小学校「みなみパワフルランド」出店

7月 ハートパーク(萱野北小学校ワークショップⅠ)

7月 ハートパーク(萱野北小学校もみじの家施設体験)

7月 みのおライフプラザ夏まつり出店

7月 ハートパーク(萱野北小学校ワークショップⅡ)

- 7月 箕面まつり出店
- 8月 あかつき福祉会納涼祭出店
- 9月 息吹日帰り旅行(兵庫県三田市方面)
- 12月 こころの会交流会
- 12月 みのおライフプラザ冬まつり出店
- 1月 ハートパーク(萱野北小会館・発達障害に関する学習会)

3 ボランティア・見学・実習の受入れ

(1) ボランティア・見学・実習の受入れ状況

ボランティア受入れ延べ人数	35 人
利用見学及び実習受入れ延べ人数	24 人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	8 人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	5 人

(2) 主な見学及び実習の受入れ機関等

精神保健福祉ボランティアこころの会、大阪バイオメディカル専門学校

4 会議への派遣

- ・(社福)箕面市社会福祉協議会評議員会
- ・(社福)あかつき福祉会評議員会
- ・(社福)あかつき福祉会 グループホーム運営委員会
- ・(財)箕面市障害者事業団採用検討委員会
- ・(財)箕面市障害者事業団理事会
- ・(財)箕面市障害者事業団評議員会
- ・(財)箕面市障害者事業団自主事業運営委員会
- ・箕面市障害者市民施策推進協議会
- ・箕面市地域自立支援協議会運営会議
- ・箕面市地域自立支援協議会相談支援部会
- ・箕面市地域自立支援協議会地域移行・定着支援部会
- ・箕面市地域自立支援協議会権利擁護部会
- ・箕面市地域自立支援協議会障害者就労系通所事業所 情報交換会
- ・アンテナショップ運営委員会
- ・大阪精神障害者地域生活支援連絡協議会
- ・箕面市生活困窮者自立支援事業推進協議会
- ・箕面市社会福祉法人連絡会

5 職員研修実施状況

(1) 職場研修

- ・人権問題に関する研修(伝達講習)
- ・箕面市自立支援協議会権利擁護部会「成年後見制度」(伝達講習)
- ・地域福祉計画「包括的な支援体制の整備」(伝達講習)

(2) 主な参加研修

① 資格取得研修

- ・サービス管理責任者研修

② 業務能力開発のための研修

- ・障害等福祉従事者研修非常勤職員研修会
- ・労働セミナー

③ 人権問題及びその他の研修

- ・みのお市民人権フォーラム「生き心地の良い社会をめざして」
- ・こころの健康講座「思春期・若者のこころ」
- ・みんなで考える障害者福祉啓発講座「発達障害のある人の成人期の支援」

パオみのお(相談支援事業)事業報告

1 概要

計画相談について、支給決定権者の箕面市と障害に対する考え方や障害者支援の在り方に関して隔たりがある。

入院が長期化する前に、円滑に地域で暮らしていけるように環境整備する、地域移行支援の実績が例年よりも多かった。

2 特筆すべき事項と課題

(1) 指定特定相談支援事業（計画相談）

「サービス等利用計画」については、パオみのおが箕面市委託相談事業所であることから、困難事例を中心に新規受任作成件数を増やすことが求められている。

発達障害でコミュニケーションや生活様式に独特のこだわりがある一人暮らしの利用者の障害福祉サービス支給申請において、決定権者の箕面市が「常識以上のサービスである」として認めなかったために、パオみのおの相談支援やヘルパーの訪問介護など全てのコミュニケーションを拒絶し、まったくサービスを利用されなくなった事例をはじめ、多くの事例で箕面市と障害に対する考え方や障害者支援の在り方に関して隔たりがある。

(2) 指定一般相談支援事業（地域移行・地域定着）

箕面市地域自立支援協議会地域移行部会において、精神科病院と連携して地域移行支援に係る院内説明会や、病院職員が地域の日中活動事業所を見学するなど取り組みを続けている。

入院が長期化しないように、院内寛解の患者について、退院後の家探し、日中活動や障害福祉サービス等の調整を行い、円滑な地域移行支援に取り組んで、例年よりも多い4件の実績を上げた。

(3) 委託相談支援事業（箕面市地域生活支援事業）

箕面市の委託相談支援事業所として、精神障害者の困難事例への対応件数を増やすよう求められている。障害福祉サービスを利用することで生活の質の向上が見込まれるものの、様々な理由でサービス利用に至らないなど、対応が困難な事例が増えている。

3 今後について

(1) 指定特定相談支援事業（計画相談）

困難事例を中心に新規受任件数を増やすよう求められていることについては、職員体制を確保するとともに、職員の相談スキルの向上に向けた育成体制を充実させる必要がある。

(2) 指定一般相談支援事業（地域移行・地域定着）

個別支援や地域の体制整備について、大阪府地域精神医療体制整備広域コーディネーターや自立支援協議会地域移行・定着支援部会と連携した支援を行うとともに、引き続き部会における検討を行う。

(3) 委託相談支援事業（箕面市地域生活支援事業）

困難事例への対応については、引き続き箕面市基幹相談支援センターと連携して支援に当たるとともに、職員研修等による能力強化と連携強化に努める。障害福祉サービスが必要であるにもかかわらず、サービス利用に至っていない障害者への支援については、柔軟に利用が可能な地域活動支援センターを活用することで対応していく。

4 主な活動実績

(1) 計画相談支援事業（指定特定相談支援事業）（単位：件）

	3年度	2年度	前年度比
サービス等利用計画作成	81	74	109.5%
モニタリング	280	288	97.2%

(2) 地域相談支援事業（指定一般相談支援事業）（単位：件）

	3年度	2年度	前年度比
地域移行支援	4	1	400.0%
地域定着支援	0	0	-%

(3) 相談支援事業実績（箕面市地域生活支援事業）（単位：件）

	3年度	2年度	前年度比
相談支援	3,101	3,292	94.2%
生活サポート	26	44	59.1%

パオミのお(地域活動支援センター)事業報告

1 概要

新型コロナウイルス感染拡大の状況があるにもかかわらず、サロン利用者数は横ばいでの減少傾向が回復しつつある。相談支援事業と併せて地域活動支援センターⅠ型として営業時間を見直したことが定着し、外出自粛の反動で安心な外出先であるという認識が深まったと考えられる。

2 特筆すべき事項と課題

- (1) 新型コロナウイルス感染拡大の影響で、全ての当事者活動が中止となっただけでなく、地域活動支援センターとして実施している定例のレクリエーション活動も感染対策上問題がある場合は中止する状況が続いた。
- (2) サロンで過ごすことが難しい利用者を対象に実施してきたグループワーク事業については、2つのグループともに月2回の活動が定着している。

3 今後について

- (1) 多様化する利用者ニーズに対応するため、内部研修の実施や外部研修の積極的活用により職員育成に努める。
- (2) グループワーク事業については、二つのグループそれぞれの雰囲気に参加しやすいものに醸成して、さらに充実させることが重要である。
- (3) 感染対策について、マスク着用、検温、手洗い、消毒、換気など、可能な範囲の対策を継続することが不可欠である。

4 主な活動実績

(1) 当事者活動支援 0人(0人)

魁スポーツ推進振興クラブ、カメカメクラブ、カチカチクラブ等は新型コロナウイルス感染拡大の影響により休会中

(2) レクリエーション活動 128人(79人)

花見散歩、みかん狩り、カフェ

※新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止した活動(日帰り旅行、外食、ショッピングツアー、茶話会、DVD鑑賞会、魚釣り、焼肉パーティー等)

(3) 独自事業

①グループワーク事業	延利用者数	113人(76人)
②食事作り事業	延利用者数	382人(259人)
③送迎事業	延利用者数	53人(59人)

※(カッコ)内は昨年度実績

5 利用者状況

(1) 利用実績

	3年度	2年度	前年比
延べ利用者数	3,092人	3,149人	98.2%
開所日数	306日	309日	99.0%
1日あたり平均利用者数	10.1人	10.2人	99.0%

(2) 登録者数

令和4年3月31日現在(単位:人)

	3年度	2年度	前年比
男性	177	174	101.7%
女性	146	136	107.4%
合計	323	310	104.2%
新規登録者数	13	7	185.7%

(3) 障害種別

令和4年3月31日現在(単位:人)

	登録数	精神	身体	知的	発達	高次脳
男性	177	155	1	10	13	1
女性	146	138	0	2	7	1
合計	323	293	1	12	20	2

かたばみ寮(共同生活援助)事業報告

1 概要

長期にわたって空室が生じて課題になっていたが、新規入居の促進に取り組んだ結果、ほぼ通年にわたって満室を実現できた。今後は、新入居者が新たな生活に慣れて安心して生活を送れるよう支援を充実することが重要である。入居者の高齢化だけでなく、職員の高齢化についても対策を検討する必要がある。

2 特筆すべき事項と課題

- (1) 新たな入居者が、グループホームでの生活ルールに自然に馴染めるように、見守りや声掛けの支援を重要視するとともに、安定した生活と日中活動への参加をめざすことができるように、それぞれに合ったペースで促している。
- (2) 個別支援計画については、年に1度の計画作成と半年に1回のモニタリングを行っている。昨年度に引き続き、日中活動先の就労継続支援B型事業所及び地域活動支援センターとの連携強化を図りつつ計画を作成するよう留意した。
- (3) 利用者の障害種別について、精神障害だけでなく知的障害、発達障害、認知レベルの低下など多様化しているとともに利用者の高齢化も進んでいる。入居者同士の関係性やマッチング等の理由で、居室において安心して過ごし難くなり家族がいる実家で過ごす時間が増えている利用者もいる。
- (4) 利用者に新型コロナウイルス感染症の陽性者や濃厚接触者が生じたときは、住居において療養することとなる可能性が高いため、協力医療機関の指導に基づいて居室替え、ゾーニングのシミュレーション、防護服などの個人防護具の着用訓練など備えが必要である。

3 今後について

- (1) 個別支援計画の目標に達していない利用者へのアプローチを関係施設、関係機関と連携をとりながら強化する。
- (2) 障害種別の多様化と利用者の高齢化により、支援力の向上・強化が求められている。世話人・生活支援員の体制を見直すとともに、内部研修の実施や外部研修への参加を積極的に行っていく。
- (3) 感染症対策について、今年度緊急包括支援補助金を活用して準備した感染対策物品を活用して、実際に防護服を着たりゾーニングしたりする訓練をしておくことで、突然の感染発生に冷静に対応できるようにしておくことが不可欠である。
- (4) 満室になったことに伴って、職員の人員配置区分が変わり必要職員数が増えたため、人員確保が喫緊の課題である。新規採用職員への研修指導と高齢化している職員体制を将来的に補充して、支援体制を強化する観点も重要である。

4 利用者状況(令和4年3月31日現在)

①利用者数(単位:人)

	定員	利用者
かたばみ寮	2	2
第2かたばみ寮	4	4
ぶなの木荘	5	5
第2ぶなの木荘	3	3
合計	14	14

②利用者の特性

平均年齢	54.4 歳	
平均在籍年数	8 年 7 か月	
障害支援区分	区分 2	2 人
	区分 3	9 人
	区分 4	3 人

③利用者の日中活動先(単位:人)

もみじの家	5
あっとほーむ	4
シェスタ	1
就労	1
その他	3

生活介護もみじの家事業報告

1 概要

箕面市指定ごみ袋製袋作業について、市の仕様変更に伴って工賃が減少傾向にあるため、今後は新たな基幹作業を開拓する必要性が生じている。

生活介護プログラムについては、事業所としての経験を重ねて安定した運営となってきたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響でプログラムの中止や変更が多くなっている。

2 特筆すべき事項と課題

(1) 日中活動支援

日中活動プログラムについては、週1回のミーティングにおいてプログラム内容を丁寧に説明したり、利用者の発案を促すなど、利用者が主体となって活動内容を決定できるように努めた。

個別支援計画を作成し、年2回の定期面談を通して具体的な目標や取り組みを検討した。その結果、利用日数の増加、より長時間の利用につながるなど活動意欲の向上につながった。

基幹作業である箕面市指定ごみ袋製袋作業について、箕面市の仕様変更に伴って納品数が減少している。新たな作業開拓を進めてきたことで工賃額は最も低かった時期に比べて増加したが、事業所を出て行う作業が増えた結果、職員体制のスケールメリットが生かせないという新たな課題が増えた。

(2) 地域生活支援

利用者が居住の場から安心して通所するための送迎サービスについて、利用ニーズが増えていることから、送迎ルートの調整と送迎体制(車両及び職員体制)の確保に努め、往路送迎は車両2台で5便体制となっている。

日常生活において保清が苦手な利用者を対象とした入浴サービスについて、夏季には多くの利用があり好評だった。

(3) その他

利用者の体調改善や通所しやすさが向上したため、契約者数が減少しているにも関わらず、延べ利用者数が増える結果となった。新型コロナウイルス感染拡大の影響で、プログラムの中止や変更が多くなっている。

3 今後について

箕面市指定ごみ袋製袋作業と並行して、今後はさらなる基幹作業の開拓を検討する必要がある。作業内容については、職員体制のスケールメリットを生かせるように、事業所屋内でできるものを中心に検討する。

延利用者数は堅調に回復してきたが、利用者数名が他事業所に移行するなど減少要因があるため、パオみのお等の相談支援事業者や関係機関と連携してPR

するなど新規利用者を増やす取り組みが必要である。

4 主な活動実績

(1) 就労支援事業

①主な就労支援事業収入

事業内容	3年度	2年度	対前年度比
受託事業(箕面市ごみ袋製袋)	949,621 円	923,843 円	102.8%
その他(自主製品)	798,191 円	407,189 円	196.0%
計	1,747,812 円	1,331,032 円	131.3%

②利用者一人当たりの月額平均工賃額

3年度	2年度	対前年度比
7,142 円	5,589 円	127.8%

(2) 日中活動プログラム

①主な日中活動プログラムの活動実績

プログラム	年回数	概要
作業	256 回	箕面市指定ごみ袋、ライフプラザごみ回収、ポスティングなど
ミーティング	49 回	プログラム内容及び施設利用ルールなどについて、利用者に説明したり意見を出し合ったりする。
調理実習	23 回	ボランティアグループこころの会と利用者が調理し食事する。
健康教室	22 回	医師及び看護師による健康相談（血圧、脈拍など）及び健康知識の講習会など。
運動	40 回	稲スポーツセンター等の運動施設やもみじの家において、バレーボール・バスケットボール・卓球等に親しむ。
映画鑑賞	12 回	DVDによる映画鑑賞をして感想文を書く。
もみじカレッジ	11 回	漢字、算数、地理、英語などを職員と楽しく学ぶ。
ゲーム	10 回	カードゲームやボードゲームなどを楽しむ。
お菓子作り	9 回	簡単に作れるお菓子を食材調達して楽しく作って食べる。
ガーデニング	6 回	プランター栽培で野菜を作って収穫する。（もみじ菜園）
パソコン	4 回	パソコンを使って基本操作などを体験しスキルアップする。
散歩	4 回	みのおキューズモールや滝道まで歩いて散策する。

※上記の他に、フリータイム(9)、室内レク(6)、図書館散策(5)、地域清掃(2)、避難訓練(2)など。

②ボランティア・見学・実習参加状況

ボランティア受入れ延べ人数	35 人
利用見学及び実習受入れ延べ人数	2 人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	7 人
萱野北小学校体験実習受入れ延べ人数	0 人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	2 人

(2) その他の活動

①施設外活動

例年は、箕面市精神保健福祉ボランティアグループこころの会交流会、春のバザー・箕面まつりに参加しているが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で中止となった。

②啓発活動

例年は、箕面市教育委員会、箕面市社会福祉協議会等と連携して精神障害者理解促進事業ハートパークに取り組んでいるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響でもみじの家での開催が中止となった。

5 利用者状況

(1) 利用実績総括表

令和4年3月31日現在

項目	3年度	2年度	対前年度比
利用契約者数	22 人	26 人	84.6%
平均年齢	52.3 歳	52.6 歳	▲0.3 歳
稼働日数	242 日	243 日	99.6%
延べ利用者数	2,907 人	2,818 人	103.2%
1 日平均利用者数	12.0 人	11.6 人	103.4%

(2) 障害者福祉手帳所持状況

令和4年3月31日現在(単位:人)

	利用者数	1 級	2 級	3 級	B1	B2	なし
男	16	1	12	1	1	1	0
女	6	0	5	0	0	0	1
合計	22	1	17	1	1	1	1

就労継続支援B型あっとほーむ事業報告

1 概要

個別支援計画において具体的な目標や取り組みを検討し、年2回のモニタリングを通して検証するとともに、関係機関との連携により生活及び就労に係る支援を実施した。

配食サービスの売り上げを増加できたため、利用者数が増えた状況であっても月額平均工賃額を向上できた。一方で、利用者数と配食弁当数が増加したことで、作業量も増加して、職員の支援体制の不安定さが課題となった。

2 特筆すべき事項と課題

(1) 就労支援事業

もみじの茎切り作業について、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、もみじの天ぷら販売店からの受注量が昨年度よりもさらに激減した。

配食サービスでは、売り上げが増加し利用者数も増えたが工賃の増加に繋げることができた。原材料については、大幅な値上げが継続している。調理作業は、配食弁当数の増加に伴って作業量が増えた。1階の調理場で調理作業に従事する利用者と、主に2階で軽作業にあたる利用者との比率、作業のバランスの悪さから、結果的に職員の業務負担が増えることとなった。また、高齢の職員にとっては作業負担も大きくなっている。

(2) 個別支援計画

個別支援計画の作成や年2回のモニタリング及び随時の面談を通じて具体的な個別の支援を行った。成果としては、利用者の意思を尊重した短期目標の設定と課題達成のための取り組みを行うことにより、職業準備性の向上がみられ、企業や協力機関での実習に取り組めるよう促していく。また、計画作成の過程で関係機関との連携が広がった。

(3) 感染対策

コロナ感染症対策については、利用者1名にコロナ感染の陽性者が出たため、集団感染にならないように、安全対策を徹底し出来る限りの対策として全員のPCR検査を行い陰性が確定するまで3日間閉所した。迅速に対応し濃厚接触者も無く、全員の陰性を確認でき、影響を最小限に抑えることができた。

3 今後について

就労支援事業について、効率的かつ効果的な事業運営をめざして、必要に応じた業務改善に努め、利用者の生活安定や就労のステップアップに資する事業体系を構築し続けていく必要がある。また、より地域に根ざした活動を行っていきけるよう、地域住民との交流を図り、地域のニーズを把握しつつ、事業経営を進めていく。

新規の利用者の受け入れについては、定員と利用契約者数のバランスを考慮しつつ、必要に応じて箕面市を始め、茨木市や池田市等の近隣の関係機関等への説明を行い、新規利用者の受け入れを行っていく。

職員の職場定着に向け育成を行い、サービスの質の向上に努めていく。

作業工程については、1階調理場で行ってきた仕込み作業の一部を2階でも行えるようにしたり、2階で軽作業にあたる利用者が食器の洗い物を率先して行うなど、役割分担を整理することで、工賃向上へ向けて全員で取り組めるようにしていく。

4 主な活動実績

(1) 就労支援事業

①主な就労支援事業収入

事業内容	3年度	2年度	対前年度比
配食サービス事業	15,616,339 円	14,459,461 円	108.0%
自動販売機管理	140,165 円	97,028 円	144.5%
受託事業(もみじの茎切り)	27,250 円	129,180 円	21.1%
自主製品事業(ビーズ・陶芸)	0 円	0 円	-%
その他(印刷など)	115,420 円	94,200 円	122.5%
計	15,899,174 円	14,779,869 円	107.6%

②利用者一人当たりの月額平均工賃額

3年度	2年度	対前年度比
22,390 円	22,330 円	100.3%

③ボランティア・見学・実習参加状況

利用見学及び実習受入れ延べ人数	16 人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	0 人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	1 人

(2) その他の活動

例年は、次の活動に取り組んでいるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で一部中止となった。

- ①施設外活動(箕面市精神保健福祉ボランティアグループこころの会交流会参加、春のバザー・箕面まつりへの出店参加)
- ②啓発活動(精神障害者理解促進事業ハートパーク)
- ③余暇活動(あっとほーむ忘年会、新年会、茶話会、外出レクなど)
- ④専門指導研修(調理師による利用者向け、職員向け講習会)

5 利用者状況

(1) 利用実績総括表

令和4年3月31日現在

項目	3年度	2年度	対前年度比
利用契約者数	29 人	28 人	103.6%
平均年齢	48.8 歳	48.1 歳	+0.7 歳
稼働日数	※239 日	243 日	98.4%
延べ利用者数	3,348 人	3,289 人	101.8%
1 日平均利用者数	14.0 人	13.5 人	103.7%

※コロナ感染により3日間閉所した。

(2) 障害者手帳所持状況

令和4年3月31日現在(単位:人)

	利用者数	2 級	3 級	A	B 1	B 2	なし	重複
男	15	12	2	0	1	0	0	0
女	14	8	2	1	0	3	1	1
合計	29	20	4	1	1	3	1	1

就労継続支援B型シエスタ事業報告

1 概要

就労支援事業については、新型コロナウイルス感染拡大により販売先がさらに減少したが、新商品を増やしたことで昨年度と比べて収入面では大きく減少することとはなかった。また、一般就労や就労継続支援A型へ数名の利用者が移行したことで契約者数が減少したため、月額平均工賃が大きく上回った。

今後も就労支援事業において、移動販売を注文販売に切り替えて売り上げを伸ばすことや利用者の新規契約者増加に向けての対策が必要である。

利用者の支援に関しては、個別支援計画を作成し、年2回のモニタリングをすることによって具体的な目標や取り組みを検討し、効果的な就労支援の提供に努めた。

2 特筆すべき事項と課題

(1) 就労支援事業

新型コロナウイルスにより、学校や企業などから販売を控えてほしいとの声が多く、急遽対面販売から注文販売などに切り替えるなど工夫が必要となった。

また、新型コロナウイルス感染症対策として、安心して作業に取り組むことが出来るよう改善を続けることが重要である。

(2) 個別支援計画

利用者個人の面談を通し、個別支援計画の作成と年2回のモニタリングを行い、具体的な個別の支援を行った。このことによって、短期的な目標設定と利用者の意思確認を行い、他機関への実習や見学、関係機関との連携強化といった成果につながった。モニタリング以外でも、都度必要に応じて面談等を行い、利用者の日常生活の悩みの解決を行った。

(3) 利用者の状況

一般就労や就労継続支援A型事業所へ利用者が移行したため、契約者数が減少した。しかし、契約者数が減少したものの、安定して利用できる利用者が増えたことで、平均利用者数が大きく下回ることはなかった。

目標に向けて体力作りや生活のリズム作りが順調に向上している利用者もあり、工賃も増額になったことで、意欲的に活動を行うことが出来ていた。

3 今後について

感染対策について、喫茶の利用客に対してはパーテーションやサーキュレーターなどの環境を整備し安心して利用できるよう引き続き努めるとともに、焼き菓子販売は販路を拡大することが難しいため、新商品や季節限定商品の取り組みを強化する。利用者についても、手洗い、消毒、検温等感染症対策を今後も徹底し、安心して利用できるよう環境を整えることが必須である。

新規利用者の受け入れについても関係機関等へのチラシ配布などを行いながら進めていく。

4 主な活動実績

(1) 就労支援事業

①主な就労支援事業収入

事業内容	3年度	2年度	対前年度比
焼き菓子販売	4,045,890 円	4,115,144 円	98.3%
委託事業(もみじの茎切り等)	240,000 円	240,000 円	100.0%
計	4,285,890 円	4,355,144 円	98.4%

②利用者一人当たりの月額平均工賃額

3年度	2年度	対前年度比
18,045 円	15,602 円	115.7%

③ボランティア・見学・実習参加状況

ボランティア受入れ延べ人数	0 人
利用見学及び実習受入れ延べ人数	6 人
関係機関等施設見学・実習受入れ延べ人数	1 人
精神保健福祉援助実習受入れ延べ人数	2 人

(2) その他の活動

例年は、次の活動に取り組んでいるが、新型コロナウイルス感染拡大の影響で一部縮小や中止となった。

- ①施設外活動(市内小学校イベント参加、箕面市精神保健ボランティアグループこころの会交流会参加、市内お祭りへの出店参加)
- ②啓発活動(精神障害者理解促進事業ハートパーク)
- ③余暇活動(なかよし会等)
- ④ガレッジセール

5 利用者状況

(1) 利用実績総括表

令和4年3月31日現在

項目	3年度	2年度	対前年度比
利用契約者数	15 人	19 人	78.9%
平均年齢	44.6 歳	45.9 歳	▲1.3 歳
稼働日数	242 日	243 日	99.6%
延べ利用者数	2,710 人	2,936 人	92.3%
1 日平均利用者数	11.2 人	12.1 人	92.6%

(2) 障害者福祉手帳所持状況

令和4年3月31日現在(単位:人)

	利用者数	1 級	2 級	3 級	A	B 1	身体 3 級	なし
男	6	0	3	2	0	0	0	1
女	9	0	4	1	1	1	1	1
合計	15	0	7	3	1	1	1	2